



平成22年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成22年8月11日

上場会社名 アテナ工業株式会社 上場取引所 JQ
 コード番号 7890 URL <http://www.athena-kogyo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 下野 泰輔
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 小木曾 範夫 (TEL) 0575 (24) 2424
 兼総務部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年9月期第3四半期の業績（平成21年10月1日～平成22年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第3四半期	6,945	△2.1	133	△54.8	161	△50.8	80	△56.5
21年9月期第3四半期	7,090	—	296	—	327	—	185	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年9月期第3四半期	8	47	—	—
21年9月期第3四半期	19	45	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
22年9月期第3四半期	9,839	6,041	6,041	61.4	634	41		
21年9月期	9,784	6,065	6,065	62.0	636	91		

(参考) 自己資本 22年9月期第3四半期 6,041百万円 21年9月期 6,065百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計			
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭		
21年9月期	—		5	00	—		7	00	12	00
22年9月期	—		5	00	—					
22年9月期(予想)							5	00	10	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成22年9月期の業績予想（平成21年10月1日～平成22年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	9,300	△2.9	240	△36.7	260	△36.2	130	△37.0	13	65

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] 3ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：無

② ①以外の変更：無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

22年9月期3Q	9,524,070株	21年9月期	9,524,070株
22年9月期3Q	793株	21年9月期	440株
22年9月期3Q	9,523,528株	21年9月期3Q	9,523,630株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年11月11日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成22年5月6日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、3ページ【当四半期の業績等に関する定性的情報】(3) 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第3四半期累計期間)	6
(第3四半期会計期間)	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

（1）経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、アジア地域を中心とする新興国による外需等に牽引され、また、政府による経済対策などの効果により持ち直し傾向にあるものの、円高やデフレの進行、雇用・個人所得の環境が回復されない状況となっております。従いまして、個人消費は自立的回復には至らず、依然として先行き不透明な状況が続いております。

プラスチック製食品包装容器業界におきましては、3～4月の天候不順が響いてコンビニエンスストアの売上高が減少したことによる影響や原油価格の高値安定による原材料価格の値上げ、また、大手スーパー、コンビニエンスストアなどが格安PB商品を多数投入し、需要の喚起を促すなど、価格競争の熾烈な状況から、低価格化での推移が予測されるなど、厳しい経営環境となりました。

このような状況の中で当社は食品業界に対して、ノウハウを活かした企画提案型営業の徹底、および消費者ニーズに応えるため「安全・安心」をテーマにより良い製品づくりを目指し、技術力、開発力をもとに同業他社との差別化製品「ペプラカップ」を市場に投入すべき大型設備投資を前期に実施いたしました。

また、生産体制の合理化、効率化により製造原価の低減を図るなど収益確保に傾注いたしました。

その結果、当第3四半期累計期間において売上高は6,945百万円（前年同期比2.1%減）、営業利益は133百万円（前年同期比54.8%減）、経常利益は161百万円（前年同期比50.8%減）、四半期純利益は80百万円（前年同期比56.5%減）となりました。

（2）財政状態に関する定性的情報

（資産・負債及び純資産の状況）

① 流動資産

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は4,720百万円（前事業年度は4,713百万円）となり7百万円増加いたしました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加、現金及び預金の減少によるものであります。

② 固定資産

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は5,119百万円（前事業年度は5,071百万円）となり48百万円増加いたしました。主な要因は、投資有価証券の増加、有形固定資産の減少によるものであります。

③ 流動負債

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は3,415百万円（前事業年度は3,349百万円）となり66百万円増加いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加、未払法人税等の減少によるものであります。

④ 固定負債

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は381百万円（前事業年度は369百万円）となり12百万円増加いたしました。主な要因は、役員退職慰労引当金の増加によるものであります。

⑤ 純資産

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は6,041百万円（前事業年度は6,065百万円）となり24百万円減少いたしました。主な要因は、剰余金の配当によるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物の残高は1,144百万円となり、前事業年度末に比べ434百万円の減少（前年同期は90百万円の減少）となりました。

各項目におけるキャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期累計期間における営業活動による資金の増加は176百万円（前年同期は資金の増加349百万円）となりました。主な要因は、仕入債務279百万円、減価償却費435百万円による資金の増加、法人税等の支払額248百万円、売上債権など396百万円の減少によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期累計期間における投資活動による資金の減少は497百万円（前年同期は資金の減少438百万円）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出378百万円、定期預金の預入による支出135百万円、定期預金の払戻による収入120百万円によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期累計期間における財務活動による資金の減少は114百万円（前年同期は資金の増加4百万円）となりました。主な要因は、配当金の支払い114百万円によるものであります。

（3）業績予想に関する定性的情報

平成22年9月期の業績予想につきましては、平成21年11月11日付「平成21年9月期決算短信」を公表しました業績予想を修正しております。平成22年5月6日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお業績予想は、本資料発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. その他の情報

（1）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

- ① 当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略して、第2四半期会計期間末における実地棚卸高を基礎とした合理的な方法により算定しております。
- ② 固定資産の減価償却費の算定方法
定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。
- ③ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法
繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

（2）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,330,627	1,750,120
受取手形及び売掛金	2,629,210	2,233,150
商品及び製品	403,518	439,722
仕掛品	79,339	53,602
原材料及び貯蔵品	138,309	127,979
その他	139,541	108,877
貸倒引当金	△150	△130
流動資産合計	4,720,397	4,713,323
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,158,928	1,208,745
機械装置及び運搬具(純額)	1,320,871	1,208,056
土地	971,260	967,899
その他(純額)	223,595	328,781
有形固定資産合計	3,674,655	3,713,483
無形固定資産	57,759	69,608
投資その他の資産		
投資有価証券	886,343	801,376
その他	574,318	572,490
貸倒引当金	△42,231	△54,141
投資損失引当金	△31,600	△31,600
投資その他の資産合計	1,386,830	1,288,125
固定資産合計	5,119,245	5,071,217
資産合計	9,839,643	9,784,541
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,085,075	1,805,271
短期借入金	800,000	800,000
未払法人税等	—	153,173
役員賞与引当金	—	24,200
賞与引当金	64,090	128,800
その他	466,829	438,315
流動負債合計	3,415,994	3,349,760
固定負債		
退職給付引当金	147,813	145,802
役員退職慰労引当金	234,160	223,300
固定負債合計	381,973	369,102
負債合計	3,797,967	3,718,862

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,293,733	1,293,733
資本剰余金	1,322,776	1,322,776
利益剰余金	3,441,998	3,475,644
自己株式	△246	△144
株主資本合計	6,058,261	6,092,010
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△16,586	△26,331
評価・換算差額等合計	△16,586	△26,331
純資産合計	6,041,675	6,065,679
負債純資産合計	9,839,643	9,784,541

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
売上高	7,090,578	6,945,024
売上原価	5,656,627	5,765,410
売上総利益	1,433,951	1,179,613
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	147,588	155,412
賞与引当金繰入額	14,107	15,810
退職給付費用	4,630	4,290
役員退職慰労引当金繰入額	15,870	17,110
運賃	497,735	454,423
その他	457,711	398,739
販売費及び一般管理費合計	1,137,643	1,045,786
営業利益	296,307	133,826
営業外収益		
受取利息	1,784	2,942
受取配当金	14,922	14,973
受取手数料	—	9,105
受取保険金	18,506	—
為替差益	—	1,445
その他	8,598	4,011
営業外収益合計	43,812	32,479
営業外費用		
支払利息	5,289	5,126
為替差損	6,935	—
営業外費用合計	12,224	5,126
経常利益	327,895	161,179
特別利益		
受取補償金	8,982	—
貸倒引当金戻入額	—	472
特別利益合計	8,982	472
特別損失		
固定資産処分損	35	298
投資有価証券評価損	2,227	30,899
会員権評価損	8,039	90
特別損失合計	10,302	31,288
税引前四半期純利益	326,575	130,364
法人税、住民税及び事業税	131,536	61,954
法人税等調整額	9,811	△12,226
法人税等合計	141,347	49,727
四半期純利益	185,227	80,636

(第3四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	2,336,734	2,548,044
売上原価	1,766,787	2,064,136
売上総利益	569,947	483,908
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	49,836	54,022
賞与引当金繰入額	14,107	15,810
退職給付費用	1,525	1,457
役員退職慰労引当金繰入額	6,330	5,640
運賃	157,048	171,058
その他	153,987	130,046
販売費及び一般管理費合計	382,834	378,035
営業利益	187,112	105,872
営業外収益		
受取利息	1,382	1,365
受取配当金	13,864	13,801
受取保険金	17,407	—
その他	1,110	5,725
営業外収益合計	33,765	20,893
営業外費用		
支払利息	1,774	1,698
為替差損	3,992	1,512
営業外費用合計	5,767	3,211
経常利益	215,111	123,554
特別損失		
固定資産処分損	—	18
投資有価証券評価損	—	30,899
会員権評価損	190	—
特別損失合計	190	30,918
税引前四半期純利益	214,921	92,636
法人税、住民税及び事業税	76,830	58,711
法人税等調整額	10,492	△24,377
法人税等合計	87,323	34,333
四半期純利益	127,598	58,302

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	326,575	130,364
減価償却費	360,247	435,748
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20,600	△24,200
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△62,352	△64,710
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5,738	2,011
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	15,480	10,860
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	7,669	△11,889
受取利息及び受取配当金	△16,707	△17,916
投資有価証券評価損益 (△は益)	2,227	30,899
会員権評価損	8,039	—
支払利息	5,289	5,126
固定資産処分損益 (△は益)	35	298
売上債権の増減額 (△は増加)	7,918	△396,060
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△23,089	136
仕入債務の増減額 (△は減少)	△258,136	279,803
その他	116,001	31,977
小計	474,337	412,450
利息及び配当金の受取額	16,691	17,950
利息の支払額	△5,284	△5,116
法人税等の支払額	△135,902	△248,988
営業活動によるキャッシュ・フロー	349,841	176,295
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△135,130	△135,118
定期預金の払戻による収入	120,000	120,000
投資有価証券の取得による支出	△100,000	△99,515
有形固定資産の取得による支出	△295,620	△378,824
無形固定資産の取得による支出	△31,821	△2,075
保険積立金の積立による支出	△41,243	△2,032
保険積立金の払戻による収入	44,326	—
その他	584	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△438,904	△497,565
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100,000	—
配当金の支払額	△95,236	△114,283
自己株式の取得による支出	—	△102
その他	—	△577
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,763	△114,962
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,120	1,620
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△90,419	△434,612
現金及び現金同等物の期首残高	1,463,510	1,579,225
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,373,090	1,144,613

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

区 分	前第3四半期累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日)		当第3四半期累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日)		前年同期比 増減率 (%)
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	
麺容器	2,868,430	39.6	2,832,340	40.9	△1.3
弁当容器	1,291,257	17.9	1,202,272	17.4	△6.9
味噌・酒容器	263,368	3.6	279,281	4.0	6.0
デリカ他容器	1,693,291	23.4	1,562,836	22.6	△7.7
その他	1,118,517	15.5	1,046,695	15.1	△6.4
合 計	7,234,866	100.0	6,923,424	100.0	△4.3

(注) 1. 金額は販売価格によっており、消費税等は含まれておりません。

2. 千円未満の端数は切り捨てて表示しております。

②受注実績

区 分	前第3四半期累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日)		当第3四半期累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日)		前年同期比 増減率 (%)
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	
麺容器	2,554,416	36.2	2,703,098	37.6	5.8
弁当容器	1,430,512	20.3	1,496,348	20.8	4.6
味噌・酒容器	237,200	3.4	269,684	3.8	13.7
デリカ他容器	1,649,216	23.4	1,602,981	22.3	△2.8
その他	1,175,157	16.7	1,117,050	15.5	△4.9
合 計	7,046,504	100.0	7,189,163	100.0	2.0

(注) 1. 金額は販売価格によっており、消費税等は含まれておりません。

2. 千円未満の端数は切り捨てて表示しております。

③販売実績

区 分	前第3四半期累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日)		当第3四半期累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日)		前年同期比 増減率 (%)
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	
麺容器	2,855,290	40.3	2,901,986	41.8	1.6
弁当容器	1,218,734	17.2	1,131,341	16.3	△7.2
味噌・酒容器	226,615	3.2	290,455	4.2	28.2
デリカ他容器	1,684,718	23.7	1,582,601	22.8	△6.1
その他	1,105,219	15.6	1,038,639	14.9	△6.0
合 計	7,090,578	100.0	6,945,024	100.0	△2.1

(注) 1. 金額は販売価格によっており、消費税等は含まれておりません。

2. 千円未満の端数は切り捨てて表示しております。